

ペン型インスリン注入器の取り扱いについて

厚生労働省医薬食品局安全対策課長より上記件について、医療機関において周知徹底するように依頼が来ています。

今般、医療機関において、針が交換可能な個人専用の器具であるペン型インスリン注入器の複数の患者への使用事例が判明しました。

このペン型インスリン注入器は

- ① インスリンのカートリッジ製剤と注入器が一体となったタイプ
- ② カートリッジを交換できるタイプ

と二つのタイプがあります。

いずれも個人専用として使用する器具であり、使用時に血液がカートリッジ内に逆流した場合、感染症の原因となる可能性があるため、複数の患者に使用しない旨が添付文書に記載されています。

永生会においては、そのように使用している事はありませんが、改めて周知徹底するようにお願いします。

【当院採用品】

- ① インスリンのカートリッジ製剤と注入器が一体となったタイプ

ヒューマログ^R注キット

ヒューマログ^Rミックス 50 注キット

ヒューマログ^Rミックス 25 注キット

ヒューマカート^RR注

ヒューマカート^R3/7 注

ヒューマカート^RN注

ノボリン^RR注フレックスペン^R

ノボリン^R30R注フレックスペン^R

ノボリン^RN注フレックスペン^R

ノボラピッド^R注 300 フレックスペン^R

ノボラピッド^R30 ミックス注フレックスペン^R

レベミル^R注フレックスペン^R

ランタス^R注ソロスター^R



② カートリッジを交換できるタイプ

ヒューマログ^R注カート

ヒューマログ^Rミックス 50 注カート

ヒューマカート^RR注

ヒューマカート^R3/7 注

ヒューマカート^RN注

ノボラピッド^R注 300

ランタス^R注オプチクリック^R300

